



感動に包まれた 定期演奏会

10月2日(日)、町中央公民館において「第9回大崎中学校吹奏楽部定期演奏会」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年も来場者を制限しての開催となりましたが、生徒はこれまで練習に励んできた成果を発揮し、感動に包まれた演奏会となりました。

部長の新下真奈美さんは「コンクールに出場できなかったのが悔しい思いをしましたが、今日はこの3年間で1番思い出に残った演奏となりました」と話してくれました。



全国和牛能力共進会で 特産品をPR

5年に一度の和牛日本一を決める「第12回全国和牛能力共進会」が、霧島高原国民休養地周辺において、10月6日(木)から10日(月)までの5日間開催されました。

鹿児島県PRエリアにおいて、大崎町特産品組合から6ブース出店し、本町の特産品を県内外からの来場者にPRしました。

大崎町のことや特産品を知ってもらう機会となりました。



日本庭園に鯉の寄贈

9月16日(金)、高井田養魚場の純浦幸平さんから鯉が寄贈され、ふれあいの里公園内の日本庭園の池に放流しました。

これは、純浦さんが本町に移住するにあたり、さまざまな形で町に貢献したいと、観賞用に色鯉と黒鯉を数匹寄贈したものです。

純浦さんは「日本庭園にぜひ見に来てください」と話されました。



大崎小学校で人権の花運動

8月19日(金)、大崎小学校において、5月に人権の花運動の一環で種をまいたひまわりの花が満開となり、その中間観察会がおこなわれました。

これは全児童を対象に、人権の花であるひまわりを育てることで、思いやりの心を育むことを目的に県内の小学校で実施されています。

同校では人権標語の募集をおこない、5年生の岩重奏汰さんの「さかせよう 言葉の種かなたで 笑顔の花を」が選ばれました。